

致拒绝输血的患者

輸血を拒否される方へ

本院尊重因宗教信仰等原因拒绝输血的患者的意愿。但若主治医师判断除输血外别无救命方法，本院的基本方针是实施输血，即“**相对无输血**”方针。

当院では、信仰上等の理由による輸血拒否について、患者さんの意思を尊重しておりますが、治療に携わる医師が、輸血を行う以外に救命の方法がないと判断した場合、原則として輸血を実施する「**相対的無輸血**」を基本方針とし、対応いたします。

基本方针【相对无输血】

基本方針【相対的無輸血】

- 本院理解并尊重因宗教信仰等原因拒绝输血的信念，认为此乃基于宗教信仰自由、构成人格权的权利。

信仰上の理由等で輸血を拒否する信念は、人格権を構成する信教の自由に基づく権利であることを理解し、尊重します。

- 对于拒绝输血的患者，本院将尽可能实施无输血治疗；但若主治医师判断除输血外别无救命方法，将实施输血。

輸血を拒否される患者さんに対し、可能な限り無輸血治療を行います。治療に携わる医師が輸血以外の救命方法がないと判断した場合、輸血を行います。

- 若患者或家属要求“绝对无输血”，即“无论何种情况均不输血”，本院不予同意。

「いかなる状況でも輸血をしない」という「絶対的無輸血」を患者さんやご家族より求められた場合は、同意いたしません。

- 对于因宗教或个人原因提出的“免责证书”等同意“绝对无输血治疗”的文件，本院不予签署。

宗教的、または個人的理由で提示される「免責証書」等、「絶対的無輸血治療」に同意する文書には署名いたしません。

- 若患者处于可能需要输血的状态但未同意接受输血，建议转院或在其他医疗机构接受治疗。

輸血が必要と想定されるような状態で、輸血を受ける同意がない場合は、転院または他院での治療をお勧めいたします。

- 在紧急情况下，如因有加害者的事故造成出血或患者意识丧失等，若判断除输血外别无救命方法且无法转院，即使未得到患者或家属的同意，本院也将基于医生的良知，实施**包括输血在内的一切可能的救命治疗**。

緊急時や加害者の存在する事故による出血、意識のない場合などで、輸血以外では救命の方法がなく、転院も不可能と判断した場合は、患者さんやご家族の同意が得られずとも、医師の良心に基づいて、救命のため**輸血を含む可能な限りの治療**を行います。

上述内容适用于所有患者，无论其意识状态、自主决定能力如何，亦不论其为成年人或未成年人。

以上は、意識の有無、自己決定能力の有無、成年・未成年の別に関わらず、全ての患者さんに適用いたします。

- * 本方针并非对拒绝输血的患者拒绝诊疗，而是希望患者本人、监护人及代理人在充分理解本院方针的基础上，就相对无输血或转院的方针做出决定。

本方針は輸血を拒否される方の診療を拒否するものではなく、当院の方針をご理解いただき、相対的無輸血または転院の方針について、患者さんや保護者の方、代理人の方に決定していただくことを目指すものです。

- * 本院将尽力充分说明院内方针以期获得理解；若无法获得同意且时间充裕，建议在其他医疗机构接受治疗。

当院の方針を十分に説明し、理解を得るべく努力いたしますが、同意が得られず時間的余裕がある場合は、他の医療機関での治療をお勧めいたします。